

令和7年度 事業報告

1. 事業概要

令和7年度は、米価の高騰やその他の食料品をはじめとする生活必需品の値上に次ぐ値上げ、また世界情勢の混乱から原油調達の不安定化による燃料価格の高止まりもあり、その負担感は市民生活や地域経済にも大きな影響を及ぼした。このような状況の中、シルバー人材センターでは、地域貢献活動としての「済生会境港総合病院での除草ボランティア作業」をはじめ、これまでも継続実施してきた普及啓発活動などに精力的に取り組んだものの、諸物価高騰の波は当センターの運営や経営状態にも影響を及ぼした。

全国のシルバー人材センターの総会員数は、近年、減少傾向が続いている。これは、少子高齢化による労働力不足の影響、また年金支給年齢の引き上げに伴う定年延長などにより、60歳代の新規会員の確保が難しくなってきたためである。当センターでも新規会員の獲得には苦慮している。このため、入会者の勧誘のための市報の折り込みチラシの回数を増やし、また受注件数が減少する年明け以降の入会者の会費を免除する取り組みを実施するなどして、会員の確保に努めた。結果、会員数は、2年連続で増加することとなり、前年度の会員数を3名上回り161人となった。

請負の契約実績については、配分金額の増額改定をしたこともあり、年度当初から契約額の実績は前の年度を上回る状況で推移した。夏場の猛暑、冬場の天候不順の影響はあったものの、公益社団法人化以後として最も低額な契約額を記録した前の年度は上回り、契約金額は4.4%増の約5,271万円であった。しかしながら、受注件数は前の年度を26件下回り、前年度より1.7%減の1,549件であった。

一方、派遣事業については、コロナ禍以後、堅調に実績を伸ばしてきたところだが、通年契約の会社が撤退したこともあり、受注件数は前年度より4割減の6件にとどまり、契約金額も8.9%減の約832万円であった。

その他、令和7年4月より配分金額の全面的な改定を行ったところだが、令和7年10月には鳥取県の最低賃金が大幅に引き上げられたこともあり令和8年4月から配分金額を改めて決定するとともに、事務費率の改定も行った。会員の皆様には、会員との意見交換会の場で、一層の「効率的な作業」と「業務の質の向上」をお願いしたところである。また、令和6年11月に施行した「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（いわゆるフリーランス法）」の制定に伴う対応として、個人家庭等の就業について契約方法を見直すことについても鋭意取り組んだ。

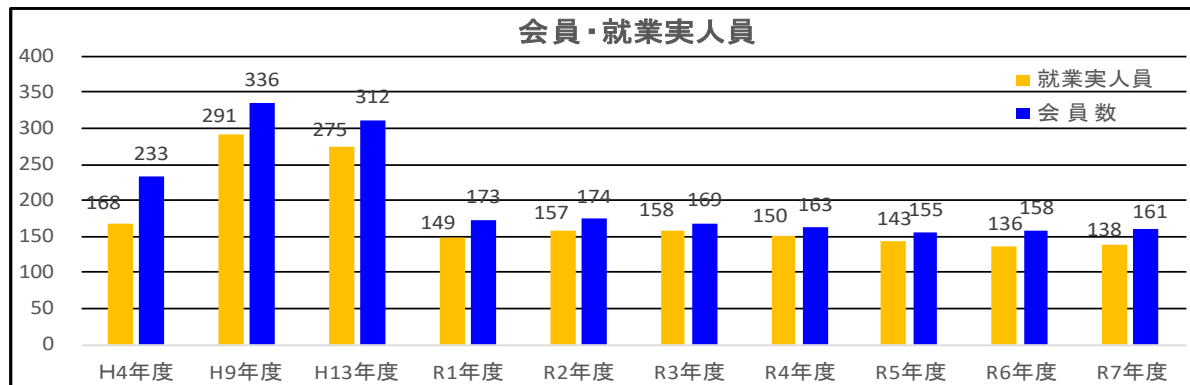
以下、令和7年度の事業実施状況を項目ごとに報告する。

2. 事業実施状況

(1) 事業実績の推移

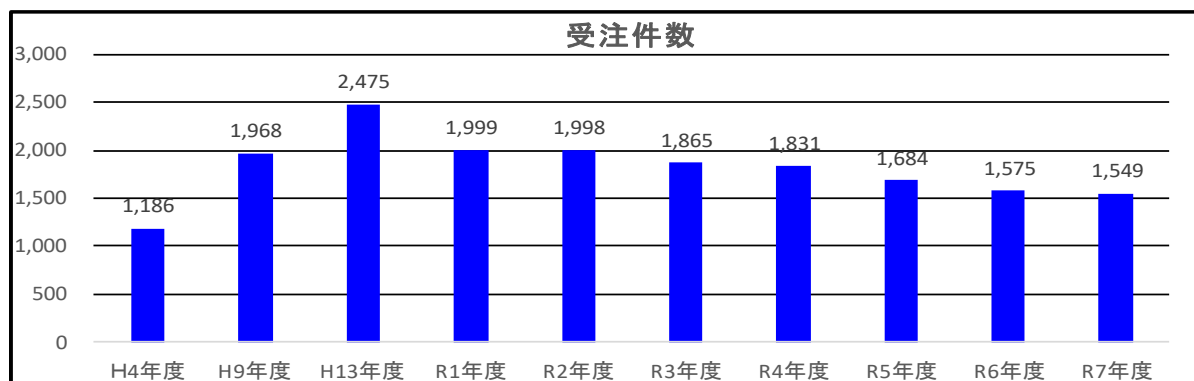
(単位：人)

	H4年度	H9年度	H13年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
会員数	233	336	312	173	174	169	163	155	158	161
就業実人員	168	291	275	149	157	158	150	143	136	138



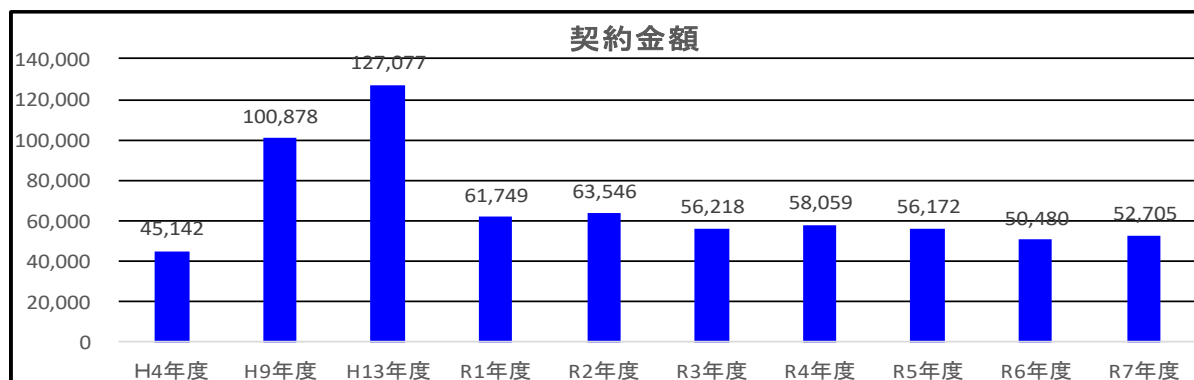
(単位：件)

	H4年度	H9年度	H13年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
受注件数	1,186	1,968	2,475	1,999	1,998	1,865	1,831	1,684	1,575	1,549



(単位：千円)

	H4年度	H9年度	H13年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
契約金額	45,142	100,878	127,077	61,749	63,546	56,218	58,059	56,172	50,480	52,705



(2) 会員数の拡大

最重要課題であることから、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して会員拡大に取り組んだ。独自の取り組みとして、会員募集の市報へのチラシの折込みを2回行ったほか、全会員に会員勧誘のチラシを配付し新規会員の獲得に努めた。また清掃ボランティアを共同して取り組んでいる他団体の会員に対して会員募集のチラシを配付するとともに、イベント会場へ出向いて会員募集のチラシを配布するなどの取り組みを継続実施した。

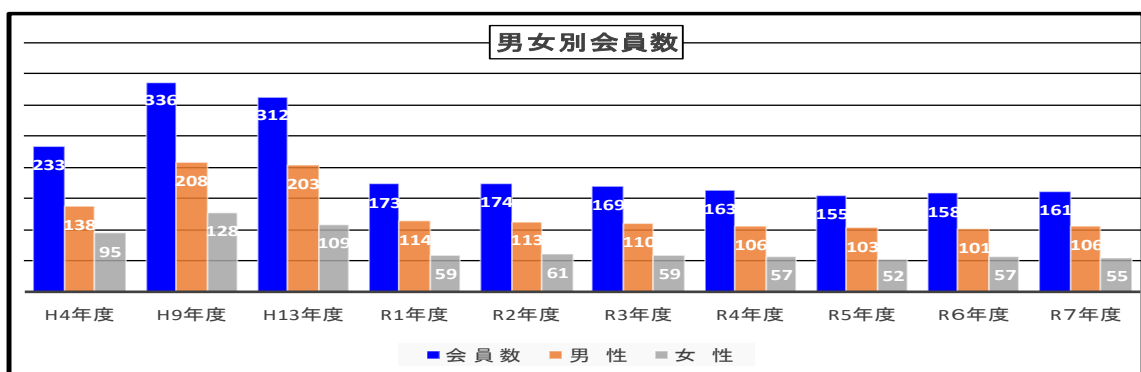
【主な取り組み】

- 公民館、市民図書館及び市民交流センターにチラシを配架（4月）
- 老人福祉センター及び鳥取県立ハローワークにチラシを配架（4月）
- 新聞各紙にチラシの折込み＜連合会と共同事業＞（4月～3月の間で15回）
- 技能講習（草刈、剪定、ハウスクリーニング、お墓清掃就業体験、チェーンソー安全、スマホ応用、障子張替、クリスマスキャンドルアレンジメント教室）＜連合会と共同事業＞（5月～12月の間で計8回）
- 県政だより広告掲載＜連合会と共同事業＞（5月、8月、1月、3月）
- 商工会議所ニュース広告掲載＜連合会と共同事業＞（年間で3回）
- テレビCM放送＜連合会と共同事業＞（6月～2月）
- 市報に会員募集の記事とチラシの折込み（9月、2月、3月）
- 境港市ことぶきクラブ会員にチラシを配布（10月）
- 「浜の里まつり&こどもまつり」にてチラシ等を配布（11月）
- 襖・障子・網戸の張替え講習会の実施（2月）

＜会員数の推移＞

（単位：人）

	H4年度	H9年度	H13年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
会員数	233	336	312	173	174	169	163	155	158	161
男性	138	208	203	114	113	110	106	103	101	106
女性	95	128	109	59	61	59	57	52	57	55



(3) 就業機会の拡大

会員の就業機会開拓と就業機会確保のため市報へのチラシの折込みを実施するとともに、官公署や事業所などを訪問、あるいは地域貢献事業を通して当センターの周知を図り、就業機会の継続とその拡大に努めた。また鳥取県シルバー人材センター連合会と連携し企業を訪問したほか、テレビCM、新聞折込み及び商工会議所ニュースなどにシルバー人材センターを紹介する広告等を掲載した。

(主な新規事業)

- 衆議院選挙公報・最高裁判官国民審査公報折込み及び封入作業

【主な取り組み】

- 公民館、市民図書館及び市民交流センターにチラシを配架（4月）
- 老人福祉センター及び鳥取県立ハローワークにチラシを配架（4月）
- 新聞各紙にチラシの折込み＜連合会と共同事業＞（4月～3月の間で15回）
- 県政だより広告掲載＜連合会と共同事業＞（5月、8月、1月、3月）
- 商工会議所ニュース広告掲載＜連合会と共同事業＞（年間で3回）
- テレビCM放映＜連合会と共同事業＞（6月～2月）
- 市報にチラシの折込み（9月、3月）
- 境港市ことぶきクラブ会員にチラシを配布（10月）
- 官公庁訪問（10月）
- 「浜の里まつり&こどもまつり」にてチラシ等を配布（11月）
- 派遣希望企業訪問＜連合会と共同事業＞（2月）

(4) 安全・適正就業の徹底

鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して年2回の安全パトロールを実施し、現場で会員に指導を行った。配分金明細書への一口メモを通じ熱中症対策や感染症予防への注意喚起を行うとともに、熱中症警戒アラートが初発令された際には各現場を巡視し、会員に直接、声掛けをするなどの対応を行った。また8月から9月中旬にかけて猛暑日が続く頃には、草取り作業などの就業を休止した。

刈払機による飛石事故対策として、市の業務で通過交通の激しい作業箇所などでの就業を見直したため、そこでの飛石事故は発生しなかったが、それ以外の業務で賠償案件が発生した。

飲酒運転根絶のためのアルコール検知器チェックと目視による確認を実施した。

【主な取り組み】

- 市業務の通過交通の多い道路等の除草作業箇所の一部見直し（４月）
- 熱中症予防としての注意喚起の一口メモ（６月）
- 熱中症警戒情報を事務所玄関と窓口に掲示して注意喚起（６月～９月）
- 安全・適正就業推進委員会の開催（７月）
- 熱中症警戒アラートが発令された際の現場巡視（７月）
- 安全・適正就業推進委員長、理事長、事務局職員及び連合会の安全・適正就業指導員による安全パトロール（７月、１１月）
- 猛暑日が続く時期の草取り作業などの就業休止（８月、９月）
- 感染症予防の注意喚起の一口メモ（１０月）
- 安全就業講習会＜連合会と共同事業＞（１１月）
- 会員との意見交換会の場で、安全・適正就業推進委員長から安全就業についての留意点の説明（２月、３月）
- 飲酒運転根絶のためのアルコール検知器によるチェックと目視による確認（通年）

＜傷害事故の発生状況＞

業種	発生日	内容	保険適用
剪定	R 7. 7.12	剪定作業中、植え込みから出てきたハチに刺された。	有
剪定	R 7. 8. 4	剪定中のツバキの木から出てきたハチに刺された。	有
墓園清掃	R 7. 9.12	除草清掃中、刈った草を集めていたところハチが出てきて刺された。	有

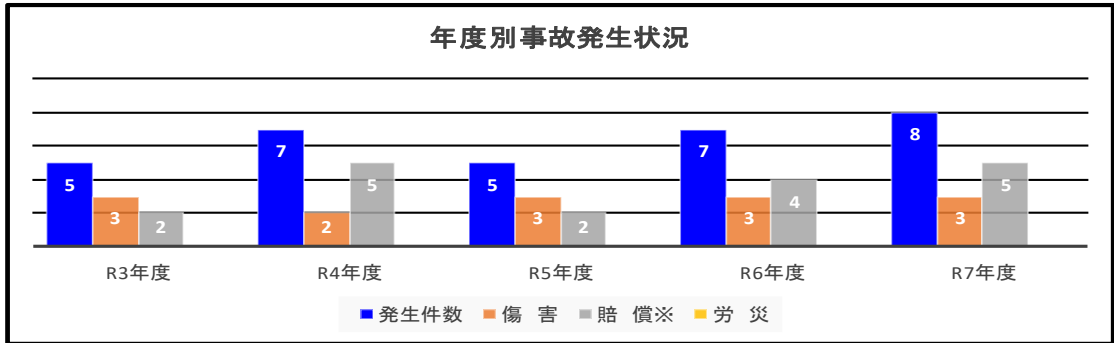
＜賠償事故の発生状況＞

業種	事故発生日	状況	保険適用
伐採	R 7. 4. 8	伐採した木が隣家の境界フェンス壁に落下し、フェンスを破損させた。	有
刈払	R 7. 5. 8	草刈中、飛石により隣接するアパートの窓ガラスを破損させた。	有
障子・襖	R 7. 6.23	雪見障子の障子を外す際に、作業台にガラスが当たりガラスを破損させた。	無
除草清掃	R 7.10.28	除草清掃の際に、依頼内容にはなかった低木を伐採してしまった。	無
除草清掃	R 7.11.11	除草清掃の際に、依頼内容にはなかった低木を伐採してしまった。	無

< 年度別事故件数の推移 >

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
発生件数	5	7	5	7	8
傷 害	3	2	3	3	3
賠 償※	2	5	2	4	5
労 災					

※連合会への報告分を計上、R3年度までは保険適用分のみ計上



(5) 持続可能な組織運営・財政基盤の確立

諸物価の高騰、燃料費の高止まりなどの影響で運営コストが嵩む中、会報や総会議案を自前で配送するなど事務経費の圧縮に努めた。また、配分金の改定をしたことにより受取事務費等の増収にも取り組んだ。また令和7年10月には鳥取県の最低賃金の更なる引き上げ改訂もあったことなどから、次年度以降の配分金額と事務費比率の改定を実施し、次年度以降の受取事務費等の増収を企図した。

【主な取り組み】

- 配分金の改定に伴う受取事務費等の増収（4月）
- 総会議案の自前での製本及び配送（5月）
- 会報の自前配送（8月、1月）
- 配分金額と事務費比率を改定し次年度以降の受取事務費等の増収を企図（12月）
- 事務経費等の節減（通年）

(6) 地域貢献活動

済生会境港総合病院でボランティア活動として除草・清掃作業を、境港市ことぶきクラブと合同で行った。合同での作業は令和4年度以来4年連続

【主な取り組み】

- 済生会境港総合病院での除草・清掃作業（10月）